

〔チーム研究6〕育児不安に関する臨床的研究（主任研究者 川井 尚）

育児不安に関する臨床的研究 V

— 育児困難感のプロフィール評定質問紙の作成 —

愛育相談所 川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁
研究企画・情報部 中村 敬・谷口和加子
嘱託研究員 恒次欽也（愛知教育大学）・安藤朗子

【要約】昨年度の研究知見に基づき0歳児，1歳児，2歳児，3歳児から6歳児までの児を持つ母親4群を対象に，各調査項目を選定し調査検討を加え育児困難感のプロフィール評定質問紙（子ども総研式育児支援質問紙試案）を作成した。その作成手順は，先ず主成分分析を行い，これに基づいて育児困難感，母親の不安・抑うつなど各年齢ごとに5から7の尺度を作成した。この尺度に基づき粗点から標準得点への換算表を作り，育児困難感の程度とその背景要因のプロフィールを描いた。そして，このプロフィール評定によりの確な育児相談，援助が可能になると考えられ，その臨床的適用を示した。

見出し語：育児不安，育児困難感，プロフィール尺度

A Clinical Study on Maternal Anxiety Related to Child Rearing (' Ikuji Fuan ') V

Hisashi KAWAI, Junichi SHOJI, Yuko CHIGA, Hirohito KATO,
Takashi NAKAMURA, Wakako TANIGUCHI, Akiko ANDO
Kinya TSUNETSUGU

Abstract: The purpose of this study was to make the questionnaire to measure mother's feelings of difficulty with child rearing (JCFRI Child Rearing Support Questionnaire). We examined the items of the former questionnaire based on the findings from our last year's study. The subjects of the questionnaire were mothers of infants (0 year old), 1 year old, 2 years old, 3 to 6 years old. The questionnaire has been developed as follows. Firstly principal component analysis was done. Reflecting on this result, we selected 5 to 7 factors in each group such as feelings of difficulty with child rearing, maternal anxiety and depression. Then we made a conversion table to standardize the Raw Scores of factors. Finally we described profiles visually to indicate the level of feelings of difficulty with child rearing and their background factors. This scale of profile assessment can be used as valid guideline to provide more supportive consultation about child rearing.

Key words : Ikuji-Fuan Child-rearing anxiety. Feelings of difficulty with child rearing . Scale of profile assessment

I 研究目的

われわれは，育児不安の本態を明らかにすることがその適切な援助につながると考え，これまで研究を重ねてきた。即ち，育児不安の本態とこれに関連する例えば夫・父親，家庭機能，母親の精神状態等の背景要因を的確に評定できれば，それを手がかりに母親への適切な援助が可能になると考えられた。そこで前報告までに，育児不安の本態としての育児困難感とその背景要因とのつながりを明らかにし，プロフィール評定尺度の試案を示しその臨床的有用性を認めた。本報告はこの研究知見に基づいて，児の年齢ごとに調査項目を取捨選択，再構成しプロフィール評定のための質問紙を育児相談など臨床場面に適用できる形に作成したのでここに報告する。

II 研究方法

1 調査項目の選定

これまでの論文に用いた調査項目より得られた知見から再検討し，更に児の年齢区分を発達的な相違を考慮に入れて0歳児，1歳児，2歳児，3歳－6歳児（3歳以上）の4段階に分け調査項目を選定した。

調査項目は次のように分けた。1. 育児に関する項目（0歳児版12項目，1歳児版14項目，2歳児版15項目，3歳以上版15項目），2. 妊娠，出産後の精神症状に関する5項目（全年齢共通），3. 父親に関する項目（0歳児版16項目，1歳児版17項目，2歳児版15項目，3歳児版15項目），4. 家庭機能に関する項目（0歳児版7項目，1歳児版9項目，2歳児版8項目，3歳児版8項目），5. 母親と子どもに関する項目（0歳児版5項目，1歳児版5項目，2歳児版7項目，3歳児版8項目），6. 子どもの問題に関する項目（0歳児版10項目，1歳児版12項目，2歳児版9項目，3歳児版14項目），7. 母親の心の状態に関する項目（0歳児版12項目，1歳児版9項目，2歳児版9項目，3歳児版9項目），8. 父親の心の状態に関する項目（0歳児版11項目，1歳児版7項目，2歳児版11項目，3歳児版11項目），9. 生後半年までの乳児の特徴に関する7項目（全年齢共通）である。まとめると，0歳児版は85項目，1歳児版は85項目，2歳児版は86項目，3歳児版は92項目である。これに加えて全年齢共通に母親，父親，児の年（月）齢，子どもの性，同居家族，日中の主な養育者，母親の仕事，妊娠・出産時の異常の有無，妊娠週数，出生体重である。

2 調査対象

対象は、0歳児を持つ母親742名内有効標本638名(男児54.0%, 女児46.0%), 1歳児530名内有効標本452名(男児51.8%, 女児48.2%), 2歳児318名内有効標本226名(男児51.1%, 女児48.9%), 3歳児以上1258名内有効標本1245名(男児50.4%, 女児49.6%であり, 3歳児285名22.9%, 4歳児335名26.9%, 5歳児398名32.0%, 6歳児227名18.2%), 計2848名有効標本2561名である。性別は男児1315名(51.4%), 女児1246名(48.6%)であった。母親の就労は、0歳児フルタイム12.7%, パートタイム5.7%, 自営3.3%, 主婦66.1%である。1歳児フルタイム23.6%, パートタイム10.4%, 自営2.9%, 主婦61.1%であった。2歳児ではフルタイム30.1%, パートタイム8.4%, 自営4.9%, 主婦51.1%, 3歳以上ではフルタイム21.0%, パートタイム12.2%, 自営5.5%であり, 主婦は57.7%であった。

3 調査方法

調査地域は、北海道札幌市, 秋田県由利郡, 東京都区内, 神奈川県海老名市, 千葉県佐倉市, 愛知県豊橋市, 同刈谷市, 山梨県, 高知県南国市, 沖縄県平良市である。調査場所は乳幼児健診, 保育所, 幼稚園, 小児科外来などであり, 回収方法は健診ではその場ないしはあらかじめ郵送し健診時に回収, 保育所, 幼稚園は園を通して配布回収した。回収率は, 正確な配布数がかかぬのが各年齢ともにおおよそ75%である。

4 整理方法

調査の分析方法は0歳児群, 1歳児群, 2歳児群, 3歳児以上群, 各群ごとに行った。昨年度研究では因子分析を行ったが, 今回, 因子分析では正値行列が算出できなかった群があり, 全体の統一性をはかるためにも, 主成分分析を行った。また, 解釈を容易にするためにバリマックス回転を行った。また, スクリーンプロットを描き, そのグラフの下降曲線の形をみて成分数を決定した。ただし, 下記に述べる信頼性分析によりさらに, 成分数を決定し直した。なお, 因子分析と主成分分析はモデルが異なるわけであるが, 主成分分析は項目群を類似性に基づいて分類するわけで抽出された成分を構成する項目群を下記のように単純加算して成分領域の得点を求めるにあたっては, 因子分析と同様に取り扱っても問題は無いものとする。

今回正値行列が算出できなかったのは何回か研究を積み重ねてきたために項目間の関係が強くなってきているためと思われる。

この分析に基づいて昨年度と同様にプロフィールを描けるようにした。そして, 上述の方法によって得られたデータについて,

①調査領域は前述の9領域であるが, その枠にとらわれずに成分を抽出するために, 全調査項目について主成分分析を行った。なお, 各項目はネガティブな反応ほど得点を高くするためにそれに該当する項目はスコアを逆転して入力した。各項目のスコアは1から4点である。

②抽出された成分を構成する項目群を対象に信頼性係数(α 係数)を算出し, 0.8未満になった場合は成分としての信頼性に欠けるものとして採用しなかった。本研究の目的である育児困難感成分と他の成分との関連をピアソンの相関係数により分析し, 育児困難感とその背景要因を検討した。

③各成分毎に成分を構成する主要な項目<成分得点0.40以上の項目>を単純加算した合計点(粗点)に基づいてパー

セントイル <5 ($SS:1$), $6-30$ (2), $31-69$ (3), $70-94$ (4), 95 (5)>値を求めて, それぞれに入る粗点を標準得点 $SS<1$ 点から5点までで高得点ほどネガティブ>に換算する表を作成した。

④段階尺度のうち, 育児困難感のSS尺度1, 2点, 4, 5点に位置するものが, 他の尺度でどのようなプロフィールを描くのかを検討した。このことにより, 育児困難感の強弱とその関連要因がプロフィール化され, 臨床的適用にすすむものと考えた。

III 結果と考察

1 各年齢群の主成分分析

各年齢群毎の主成分分析の結果を表2に示した。更に成分を構成する項目の意味を吟味し, 表1に成分名を示した。これをみると各年齢に共通するのは「夫・父親・家庭機能の問題」(「夫・父親役割の問題」含む), 「Difficult Baby」, 「夫(父親)の心身不調」, 「育児困難感I(心配・困惑・不適格感)」, 「母親の(不安)・抑うつ傾向」の5つであった。これに「育児困難感II(ネガティブな感情・攻撃衝動性)」が1歳, 2歳, 3歳以上群にみられ, 1歳児と3歳児に「家庭機能の問題」が浮かびあがってきた。この「家庭機能の問題」は夫・父親と結びつくと, 各群の共通性がでてくるものといえる。以下, はじめに共通して抽出された成分に基づきその結果と考察を述べる。それから年齢に固有に現れた成分を, そして最後に育児困難感について検討する。

2 主成分分析よりみた母親の抱える諸要因

1) 乳幼児(0-6歳児)をもつ母親の抱える諸要因

a. 夫・父親の問題:

いずれの年齢群においても第1成分は「夫・父親・家庭機能の問題」, ないしは「夫・父親の役割問題」が抽出された。そして, 「夫・父親の役割問題」の場合は「家庭機能の問題」が別に抽出されていて両者が深い関わりを持っていることがわかる。両者の相関関係については後述する。

「夫・父親・家庭機能の問題」(0歳と2歳児群)を構成する項目群は「夫は私や子どものためによくしてくれる(R)」, 「夫は精神的に私を支えてくれる(R)」, 「父親としての自覚が足りない」, 「家族は子育ての大変さを理解してくれない」などである。この中で「妊娠中, 夫や家族の協力が得られなくて大変だった」という項目は産褥期のマタニティ・ブルーズとの関係も考慮され注目される。それも0歳児群だけでなく2歳児群にも現れているのが特徴的である。

「夫・父親の役割問題」(1歳と3歳以上群)では上記と項目はかなり重複している。また, 一部家庭機能に関わる項目も含まれており, その点で両者はかなり類似しているといえて良いであろう。

また, その家庭機能は夫婦関係の問題を反映し, 一方, 父親の果たすべき役割を示しているともいえる。

b. 父親の心身不調:

これも各年齢群に共通して現れた成分である。成分の構成項目は「精神的に不調」, 「いらいらしている」, 「沈みがち」な

どであるが、注目されるのは「仕事にいきながらなかったりやる気を失っている」ことである。近年の不況による就労環境の厳しさも背景にあるのかもしれない、これが心身の不調に影響を与えているとも考えられる。いずれにせよ父親が心身不調であるならば、夫、父親としての役割を果たすことは困難である。母親支援のみではなく、父親支援も今後の大きな課題といえよう。

c. Difficult Baby :

同様に、各年齢に共通してまとまりを示した成分であり、その構成項目は「よく泣いてなだめにくい」「訳も分からず泣く」「あまり眠らない」といった、泣くことや睡眠に関わるものである。これらは育てにくさを示す乳児の気質、すなわち Difficult Baby としてまとめられる。育てにくさは母子関係の形成と発達を困難にするものであり、育児に対する母親の意欲や自信を失わせる一要因である。この関連の中で母親の育児を困難なものにする可能性がある。母親のみが Difficult Baby に対応することは難しく、父親の育児、家事参加、精神的な支持が必要である。

表1 成分命名リスト

0歳児 第1成分：夫・父親・家庭機能の問題 第2成分：母親の不安・抑うつ傾向 第3成分：Difficult Baby 第4成分：夫の心身不調 第5成分：育児困難感Ⅰ（心配・困惑・不適格感）
1歳児 第1成分：夫・父親の役割問題 第2成分：夫の心身不調 第3成分：育児困難感Ⅰ（心配・困惑・不適格感） 第4成分：Difficult Baby 第5成分：育児困難感Ⅱ （ネガティブな感情・攻撃衝動性） 第6成分：母親の抑うつ傾向 第7成分：家庭機能の問題
2歳児 第1成分：夫・父親・家庭機能の問題 第2成分：夫の心身不調 第3成分：母親の不安・抑うつ傾向 第4成分：Difficult Baby 第5成分：育児困難感Ⅰ（心配・困惑・不適格感） 第6成分：育児困難感Ⅱ （ネガティブな感情・攻撃衝動性）
3歳児 第1成分：夫・父親の役割問題 第2成分：育児困難感Ⅰ（心配・困惑・不適格感） 第3成分：Difficult Baby 第4成分：母親の抑うつ傾向 第5成分：家庭機能の問題 第6成分：夫の心身不調 第7成分：育児困難感Ⅱ （ネガティブな感情・攻撃衝動性）

d. 母親の（不安）抑うつ傾向：

「母親の不安・抑うつ傾向」を構成したのは0歳児第2成分と2歳児第3成分であった。「気が滅入る」「不安や恐怖感におそわれる」「悲観的である」「心配性であれこれ気に病む」「何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる」といった不安感や抑うつ傾向・孤立感が特徴的である。それと共に「何事にも敏感に感じすぎてしまう」という過敏性や、「イライラしている」といった焦燥感もみられる。

これに加えて0歳児群では「出産後気が沈みおっくうで何もする気が起きなかった」ことがみられる。この年齢群の母親であるだけにマタニティ・ブルーズないし抑うつ傾向には注意したい。

さらに、1歳児第6成分、3歳児第4成分「母親の抑うつ傾向」では「心配性であれこれ気に病む」「何事にも敏感に感じすぎてしまう」「悲観的である」などであり、0歳児や2歳児とそれほど変わるところはなく、不安傾向を認めるかどうか若干の違いであり、基本的な心性はほぼ同一と考えて良いと思われる。

これら（不安）抑うつ傾向は母親の心の不健康さを示すものであり、母子関係への影響が考えられる。とりわけ、「母親の気分障害（うつ病）と子どもへの虐待との関連」が指摘されていることに注目したい（齋藤学，1998）。後にもふれるが育児困難感Ⅰ、Ⅱの程度と抑うつ状態、及び他の背景要因がどのような結びつきをつくると虐待へのハイリスクが生じるのか、今後の重要な研究課題である。いずれにせよ抑うつ程度によっては心理臨床による援助、あるいは精神科治療が必要になり、また、子どもに対する虐待の有無にも注意を払うべきであろう。

e. 家庭機能の問題：

1歳児では第7成分、3歳児では第5成分にあらわれた。一方、0歳児と2歳児では既に指摘したように「夫・父親の役割問題」と併合して現れている。従って家庭機能は父親、あるいは夫の役割と深く関わりをもっているといえよう。この成分は「家庭の中がしっくりいかない」「何かと家庭内にもめ事が起こる」「家庭には私の居場所がない」「家族としてまとまりを感じる（R）」であり、家庭内がまとまりを欠き、おそらくは父親、母親の役割が機能していないものと思われる。

なお、3歳以上群では「家族は子育ての大変さを理解していない」「しゅうとめなどの家族に干渉される」が加わり、家庭内で孤立し、周囲から理解されていない母親像も加わっている。子どもの年齢が上がるにつれて家庭内での母親の位置づけが危うくなっていることが推測される。

このように家庭機能が十分に機能しないのであれば安定した母子関係の形成と発達は困難になる。家庭機能の問題は母親に対するサイコ・ソーシャル・サポートの重要性を示すものと考えられる。

2) 0歳児の母親の育児困難感

0歳児の育児困難感が、他の3群と異なる点は、タイプⅠだけを示すことである。但し、このタイプⅠは他群のタイプ

Iを構成する項目に共通性があることから、これは年齢に関わらず育児困難の中核をなすものと考えられる。

この「育児困難感I」を構成するものは「育児に自信が持てない」「子どものことでどうしたらよいかわからない」「どのようにしつければよいかわからない」「母親として不適格と感ずる」といった育児への心配やとまどい、不適格感からなりたっている。育児への自信のなさが、母親としての適格性に欠けるという認識につながっているようである。のちに述べるタイプIIは子どもに対するネガティブな感情や攻撃性から成り立っていることから、この時期の母親の子どもへの関わりが、1歳児以降と異なる様相を示しているといえよう。

3) 1歳児の母親の育児困難感

1歳児以降では育児困難感はタイプIとIIにわかれる。

後にふれるが、この両者は相関がかなり高く、両タイプは類型として完全に独立しているわけではなく、つまり、タイプI型の母親、タイプII型の母親というように別個に存在するということはないように思われる。即ち、タイプのウエイトの違いが母親たちの特徴として現れるものと考えられる。

「育児困難感I」は「育児に自信が持てない」「子どものことでどうしたらよいかわからない」「どのようにしつければよいかわからない」「母親として不適格と感ずる」などであり、0歳児とすべて共通している。

「育児困難感II」は「子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む」「子どもを虐待しているのではないかと思う」「何で叱られているのかわからないのに叱ってしまう」と合わせて、母親自身の「イライラしている」「怒りっぽい」が構成要素に入ってきており、母親のイライラ焦燥感や怒りが抑制できず、子どもへ向けられてしまうことが考えられる。

4) 2歳児の母親の育児困難感

2歳児の場合も育児困難感はIとIIとに分かれた。

「育児困難感I」は「育児に自信が持てない」「子どものことでどうしたらよいかわからない」「どのようにしつければよいかわからない」「母親として不適格と感ずる」などであり、共通する。ただし、「私は子育てに困難を感じている」「子どものことは理解できている(R)」が抜けている。これは負荷量が0.4未満になったためこうした傾向がなくなったわけではない。

「育児困難感II」は「何で叱られているのかわからないのに叱ってしまう」「子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む」「子どもを虐待しているのではないかと思う」「怒りっぽい」(母親)が共通する一方で、「とめどなく叱ってしまう」衝動性や「子どものことを許せない」という許容性のなさが特徴的である。

こうしたタイプの違いが現れたとき、おのずと母親への相談のあり方も変わってくるものと思われる。

5) 3歳以上の母親の育児困難感

これも同様に育児困難感は二つのタイプに分かれた。

「育児困難感I」は「育児に自信が持てない」「母親として不適格と感ずる」「どのようにしつければよいかわからない」など多くの項目が共通しているが、この年齢群に特徴的

なのは「よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす」「子どもを育てることが負担である」の2項目である。子どもの成長にともない他児との相違がでてきたり、子どもの発達にともない、その対応の難しさが露呈しやすとも考えられる。さらに3歳以上ではタイプIIに現れた「子どものことが煩わしくてイライラする」が加わっている。これも思うようにならない子育てが母親としての不適格感などと結びついたのであろう。

「育児困難感II」では「とめどなく叱ってしまう」「子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む」「子どもを虐待しているのではないかと思う」などと共に母親自身の「イライラしている」「怒りっぽい」があり、0歳児を除く他の年齢と変わらない要素で構成されていることが認められた。

以上の検討から育児困難感は0歳児と1歳以上では、多少異なる様相を示している。即ち0歳児の母親は、育児への自信のなさ、困惑からなる育児困難感成分のみであるが、1歳以上になるとこれに「子どもが煩わしくてイライラする」「子どもを虐待しているのでは」「子どもを許せないことが多い」等子どもへのネガティブな感情や衝動的で抑制の利かない攻撃性が現れてくる。これには母親自身が「イライラする」「怒りっぽい」といった精神状態にあることも影響していると考えられる。一方、子どもが思うようにならない、あるいは子どもの自己主張などに振り回されることも関連があると思われる。いずれにせよ、こうした育児困難感は抑うつ状態と他の背景要因との組み合わせによって虐待へのハイリスクの可能性を含んでいると考えられる。したがって、虐待の発生を早期に予防するためにもこうした育児困難感に関するチェックと相談援助が望まれる。

表2-1
主成分分析と信頼性分析(α係数)

0歳児(有効数n=516)
第1成分:8.950(10.529%) : α=0.9240
21項目(夫・父親・家庭機能の問題)
3-1-06:夫は私や子どものためによくしてくれる(R).790
3-1-03:夫は精神的に私を支えてくれる(R).756
3-2-4:父親としての自覚が足りない.728
3-1-10:夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない.722
3-1-09:家庭内に関する事柄について夫には期待できない.708
3-1-05:育児のことで相談にのってくれる(R).703
3-2-2:夫は子どもとよく遊び面倒見がよい(R).666
3-1-02:夫と気持ちが通じ合っている(R).640
3-2-1:夫は子どもに関心がない.621
3-1-07:夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる.604
3-2-3:夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない.600
3-1-08:この人と結婚して幸せである(R).595
3-1-01:夫と話し合う時間が少ない.520
4-06:家族は子育ての大変さを理解してくれない.517

4-07: 家族は私の趣味や仕事を理解し協力してくれる (R) . 497
 4-04: 家庭としてまとまりを感じる (R) . 462
 3-2-5: 子どもは父親になつていない. 455
 4-01: 家庭の中がしっくりいかない. 450
 2-02: 妊娠中, 夫や家族の協力が得られなくて大変だった. 429
 3-1-04: 夫は家事や育児に消極的である. 424
 7-05: M 幸せな気分で過ごしている (R) . 421

第 2 成分: 6.714 (7.899%) : $\alpha = 0.9010$
 12 項目 (母親の不安・抑うつ傾向)
 7-07: M 気が滅入る. 783
 7-11: M 不安や恐怖感におそわれる. 763
 7-02: M 悲観的である. 753
 7-10: M とても心配性であれこれ気に病む. 696
 7-03: M 精神的に不調である. 695
 7-06: M 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる. 670
 7-12: M いても立ってもいられないほど落ち着かない. 647
 7-09: M 何事にも敏感に感じすぎてしまう. 631
 7-04: M 怒りっぽい. 568
 7-01: M イライラしている. 562
 7-08: M 楽天的でよくよ考えない. 541
 2-05: 出産後気持ちが沈みおっくうで何もする気がしなかった. 413

第 3 成分: 4.485 (5.277%) : $\alpha = 0.8511$
 8 項目 (Difficult Baby)
 9-02: B よく泣いてなだめにくい. 832
 9-04: B 訳も分からず泣く. 761
 9-01: B あまり眠らない. 750
 9-07: B 抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかる. 703
 9-06: B 一晩に何回も起こされる. 688
 9-03: B おとなしく手が掛からない (R) . 622
 9-05: B 一日の生活リズムが一定しない. 588
 6-03: 夜泣きがひどい. 551

第 4 成分: 4.022 (4.732%) : $\alpha = 0.8331$
 9 項目 (夫の心身不調)
 8-08: F 精神的に不調である. 750
 8-06: F イライラしている. 661
 8-09: F 精神的にゆとりがない. 683
 8-05: F 沈みがち. 691
 8-07: F 悲観的である. 620
 8-01: F 眠れない. 483
 8-04: F 淋しい. 522
 8-10: F 仕事がうまくいってない. 494
 8-11: F 仕事に行きたがらなかつたりやる気を失っている. 415

第 5 成分: 3.760 (4.424%) : $\alpha = 0.8358$
 8 項目 (育児困難感 I < 心配・困惑・不適格感 >)
 1-01: 育児に自信が持てない. 698

1-12: 子どものことでどうしたらよいかわからない. 634
 5-05: どのようにしついたらよいかわからない. 600
 5-04: 子どものことは理解できている (R) . 598
 1-05: 母親として不適格とを感じる. 598
 1-11: 私は子育てに困難を感じる. 592
 1-04: 子どもをうまく育てている (R) . 557
 1-02: 育児についていろいろ心配なことがある. 425

表 2-2
 主成分分析と信頼性分析 (α 係数)

1 歳児 (n = 395)
 第 1 成分: 7.874 (9.264%) : $\alpha = .9123$
 17 項目 (夫・父親役割問題)
 3-1-06: 夫は私や子どものためにとてもよくしてくれる (R) . 777
 3-1-05: 育児のことで相談にのってくれる (R) . 749
 3-1-07: 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる. 736
 3-1-03: 夫は精神的に私を支えてくれる (R) . 720
 3-2-4: 父親としての自覚が足りない. 709
 3-1-09: 家庭内に関する事柄について夫には期待できない. 709
 3-1-10: 夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない. 688
 3-2-2: 夫は子どもとよく遊び面倒見がよい (R) . 620
 3-1-08: この人と結婚して幸せである (R) . 607
 3-1-02: 夫と気持ちが通じ合っている (R) . 568
 3-1-11: 夫はほとんど家にいない. 550
 3-2-1: 夫は子どもにあまり関心がない. 539
 3-1-01: 夫と話し合う時間が少ない. 512
 3-1-04: 夫は家事や育児に消極的である. 466
 4-04: 家族としてのまとまりを感じる (R) . 455
 3-2-3: 夫は子どもをどのように扱ったら良いかわからない. 435
 7-05: M 幸せな気分で過ごしている (R) . 427

第 2 成分: 4.702 (5.532%) : $\alpha = .8629$
 7 項目 (夫の心身不調)
 8-03: F 沈みがち. 819
 8-05: F 精神的に不調である. 805
 8-07: F 仕事に行きたがらなかつたり, やる気を失っている. 775
 8-04: F 悲観的である. 713
 8-06: F 仕事がうまくいってない. 680
 8-02: F 淋しい. 613
 8-01: F 生き生きしている (R) . 589

第 3 成分: 4.180 (4.917%) : $\alpha = .8443$
 8 項目 (育児困難感 I < 心配・困惑・不適格感 >)
 1-01: 育児に自信が持てない. 715
 1-04: 子どもをうまく育てている (R) . 630
 1-14: 子どものことでどうしたらよいかわからない. 612
 5-05: どのようにしついたらよいかわからない. 599
 1-02: 育児についていろいろ心配なことがある. 580

1-06:母親として不適格に感じる. 516 5-04:子どものことは理解できている (R) . 489 1-13:私は子育てに困難を感じている. 475	3-1-05:育児のことで相談ののってくれる (R) . 784 3-1-08:この人と結婚して幸せである (R) . 761 3-1-02:夫と気持ちが通じ合っている (R) . 722 3-1-09:家庭内に関する事柄について夫には期待できない. 695 3-2-4:父親としての自覚が足りない. 688 3-1-10:夫は子育ての大変さなど私の苦勞をわかっていない. 678 3-2-3:夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない. 615 3-2-1:夫は子どもに関心がない. 598 3-1-07:夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる. 592 3-2-2:夫は子どもとよく遊び面倒見がよい (R) . 550 3-1-01:夫と話し合う時間が少ない. 501 4-04:家庭としてまとまりを感じる (R) . 485 3-1-4:夫は家事や育児に消極的である. 445 2-2:妊娠中, 夫や家族の協力が得られなく大変だった. 417 4-01:家庭の中がしっくりいかない. 415
第4成分:3.925 (4.618%) : $\alpha = .8498$ 7項目 (Difficult Baby) 9-02:Bよく泣いてなだめにくかった. 790 9-01:Bあまり眠らなかつた. 773 9-07:B抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかった. 720 9-05:B一日の生活のリズムが一定しなかつた. 699 9-06:B一晩に何回も起こされた. 689 9-03:Bおとなしく手がかからなかつた (R) . 638 9-04:B訳も分からず泣いた. 623	第2成分:5.858 (6.812%) : $\alpha = .8878$ 9項目 (夫の心身不調) 8-08:F精神的に不調である. 857 8-09:F精神的にゆとりがない. 839 8-10:F仕事があまくいってない. 839 8-07:F悲観的である. 771 8-05:F沈みがち. 702 8-11:F仕事に行きたがらなかつたりやる気を失っている. 607 8-06:Fイライラしている. 594 8-02:F居場所がない. 486 8-01:F眠れない. 456
第5成分:3.734 (4.393%) : $\alpha = .8374$ 7項目 (育児困難感Ⅱ<ネガティブな感情・攻撃衝動性>) 1-12:子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む. 728 1-07:子どもを虐待しているのではないかと思う. 727 5-03:何で叱られているのかわからないのに叱ってしまう. 648 7-04:M怒りっぽい. 641 7-02:Mイライラしている. 625 1-03:子どものことがわずらわしくてイライラする. 534 1-06:母親として不適格と感じる. 430	第3成分:5.488 (6.382%) : $\alpha = .8935$ 8項目 (母親の不安・抑うつ傾向) 7-08:M心配性であれこれ気に病む. 724 7-02:M悲観的である. 680 7-07:M何事にも敏感に感じすぎてしまう. 670 7-06:M楽天的でよくよ考えない. 669 7-05:M気が滅入る. 659 7-09:M不安や恐怖感におそわれる. 650 7-04:M何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる. 645 7-01:Mイライラしている. 455
第6成分:3.403 (4.004%) : $\alpha = .8322$ 5項目 (母親の抑うつ傾向) 7-09:M心配性であれこれ気に病む. 808 7-08:M何事にも敏感に感じすぎてしまう. 764 7-07:M楽天的でよくよ考えない. 680 7-03:M悲観的になりやすい. 599 7-06:M気が滅入る. 543	第4成分:5.118 (5.951%) : $\alpha = .9119$ 7項目 (Difficult Baby) 9-02:Bよく泣いてなだめにくかった. 865 9-01:Bあまり眠らなかつた. 853 9-07:B抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかった. 815 9-06:B一晩に何回も起こされた. 809 9-03:Bおとなしく手が掛からなかつた (R) . 778 9-05:B一日の生活リズムが一定しなかつた. 741 9-04:B訳も分からず泣いた. 709
第7成分:3.262 (3.838%) : $\alpha = .8011$ 5項目 (家庭機能の問題) 4-01:家庭の中がしっくりいかない. 709 4-02:何かと家庭内にもめ事が起こる. 697 4-03:家庭には私の居場所がない. 599 4-05:家庭内に心配事がある. 534 4-04:家族としてのまとまりを感じる (R) . 501	

表2-3
主成分分析と信頼性分析 (α 係数)

2歳児 (n=188) 第1成分:8.681 (10.094%) : $\alpha = .9274$ 17項目 (夫・父親・家庭機能の問題) 3-1-06:夫は私や子どものためによくしてくれる (R) . 809 3-1-03:夫は精神的に私を支えてくれる (R) . 795

<p>第5成分:3.808 (4.428%) : $\alpha = .8371$ 6項目 (育児困難感 I <心配・困惑・不適格感>) 1-01:育児に自信が持てない.758 1-15:子どものことでどうしたらよいかわからない.698 5-06:どのようにしついたらよいかわからない.635 1-04:子どもをうまく育てている (R).627 1-02:育児についていろいろ心配なことがある.611 1-06:母親として不適格に感じる.578</p>	<p>1-14:私は子育てに困難を感じる.565 5-04:子どものことは理解できている (R).490 1-03:子どものことがわずらわしくてイライラする.479 1-09:よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす.448 1-05:子どもを育てることが負担である.413</p>
<p>第6成分:3.372 (3.921%) : $\alpha = .8160$ 6項目 (育児困難感 II <ネガティブな感情・攻撃衝動性>) 5-03:何で叱られているかわからないのに叱ってしまう.689 5-07:とめどなく叱ってしまう.641 1-13:子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む.620 5-02:子どものことを許せない.556 7-03:M怒りっぽい.546 1-07:子どもを虐待しているのではないかと思う.536</p>	<p>第3成分:4.474 (4.863) : $\alpha = .8869$ 7項目 (Difficult Baby) 9-02:Bよく泣いてなだめにくかった.840 9-01:Bあまり眠らなかつた.815 9-07:B抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかった.795 9-06:B一晩に何回も起こされた.766 9-04:B訳も分からず泣いた.758 9-05:B一日の生活リズムが一定しなかつた.724 9-03:Bおとなしく手がかからなかつた.670</p>
<p>表2-4 主成分分析と信頼性分析 (α係数)</p>	<p>第4成分:4.163 (4.525) : $\alpha = .8750$ 7項目 (母親の抑うつ傾向) 7-08:M心配性であれこれ気に病む.773 7-07:M何事にも敏感に感じすぎてしまう.736 7-09:M不安や恐怖感におそわれる.677 7-06:M楽天的でよくよ考えない.638 7-02:M悲観的である.624 7-05:M気が滅入る.582 7-04:M何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる.557</p>
<p>3歳以上 (n=1086) 第1成分:8.432 (9.166%) : $\alpha = .9336$ 16項目 (夫・父親の役割問題) 3-2-4:父親としての自覚が足りない.790 3-1-06:夫は私や子どものためによくしてくれる (R).781 3-2-2:夫は子どもとよく遊び面倒見がよい (R).758 3-2-1:夫は子どもにあまり関心が無い.747 3-1-10:夫は子育ての大変さなど私の苦労をわかっていない.734 3-2-3:夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない.732 3-1-05:育児のことで相談にのってくれる (R).713 3-1-09:家庭内に関する事柄について夫には期待できない.696 3-1-07:夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる.676 3-1-04:夫は家事や育児に消極的である.657 3-1-03:夫は精神的に私を支えてくれている (R).646 3-1-08:この人と結婚して幸せである (R).625 3-1-02:夫と気持ちが通じ合っている (R).572 3-1-01:夫と話し合う時間が少ない.476 4-04:家庭としてまとまりを感じる (R).410 4-01:家庭の中がしっくりいかない.403</p>	<p>第5成分:3.300 (3.587) : $\alpha = .8219$ 7項目 (家庭機能の問題) 4-01:家庭の中がしっくりいかない.635 4-02:何かと家庭内にもめ事が起こる.633 4-08:家族の中で私だけが辛い思いをしている.630 4-07:家族は子育ての大変さを理解していない.617 4-03:家庭には私の居場所がない.558 4-05:しゅうとめなどの家族に干渉される.547 4-04:家庭としてのまとまりを感じる (R).454</p>
<p>第2成分:5.258 (5.715) : $\alpha = .8864$ 11項目 (育児困難感 I <心配・困惑・不適格感>) 1-01:育児に自信が持てない.747 1-06:母親として不適格とを感じる.675 1-04:子どもをうまく育てている (R).647 5-06:どのようにしついたらよいかわからない.633 1-02:育児についていろいろ心配なことがある.605 1-15:子どものことでどうしたらよいかわからない.579</p>	<p>第6成分:3.265 (3.549) : $\alpha = .8031$ 7項目 (夫の心身不調) 8-05:F沈みがち.772 8-04:F淋しい.708 8-07:F悲観的である.652 8-02:F居場所がない.555 8-08:F精神的に不調である.491 8-11:F仕事にいきがなかつたりやる気を失っている.481 8-01:F眠れない.436</p> <p>第7成分:3.143 (3.417) : $\alpha = .8511$ 7項目 (育児困難感 II <ネガティブな感情・攻撃衝動性>) 5-07:とめどなく叱ってしまう.618</p>

1-13: 子どもに八つ当たりしては反省して落ち込む. 595
 7-03: M怒りっぽい. 585
 7-01: Mイライラしている. 534
 5-03: 何で叱られているかわからないのに叱ってしまう. 522
 1-07: 子どもを虐待しているのではないかと思う. 519
 1-03: 子どものことがわずらわしくてイライラする. 464

注記: α : 信頼性係数 (α 係数)

R: 逆転項目

F: 父親・夫に関する質問

M: 母親への質問

B: 乳児期の質問

W: 項目の重複

成分: 負荷量 (分散%)

3 育児困難感成分と他の成分との相関—背景要因の検討—

各成分を主に構成する (負荷量 0.400 以上) 項目群の単純加算したスコアに基づきこの得点間の相関係数を求めて、これを以下、成分間相関と称する。表 3-1~4 をみると 0.40 以上の相関値が得られた組み合わせ (合計点を除く) は 0 歳児で 2, 1 歳・2 歳児で 6, 3 歳以上で 7 であり、年齢上昇にともない増えている。これは育児困難感がタイプ I と II に分かれたことと、育児困難感に関与する要因が増えていることを意味する。

1) 0 歳群の背景要因 (表 3-1):

「育児困難感 I」は「母親の不安・抑うつ傾向」との間に .579 と高い相関値が得られた。ついで、「Difficult Baby」.349, 「夫・父親・家庭機能の問題」.321 であった。さらに、「夫・父親・家庭機能の問題」と「夫の心身不調」が .441 であった。また、「夫・父親・家庭機能の問題」と「母親の不安・抑うつ傾向」では .386 であった。

従って 0 歳児をもつ母親の育児困難感の背景は母親自身の心の健康問題に集約されるようである。特にこの時期の母親のもつ抑うつ状態は、子どもの発達や心の健康に多大な影響を与えることが考えられ、相談の際の重要なポイントである。

2) 1 歳群の背景要因 (表 3-2):

「育児困難感 I」は「同 II」と .691 とかなり高い正相関があり、ついで「母親の抑うつ傾向」.469 であった。

「育児困難感 II」は同様に「母親の抑うつ傾向」との間は、.509 の相関があった。

さらに、「夫・父親の役割問題」は「家庭機能の問題」と .657, 「夫の心身不調」と .453 の相関値であった。「夫の心身不調」は「母親の抑うつ傾向」と .469, そして「家庭機能の問題」と .501 の相関が見られた。このことから「育児困難感 I と II」は「母親の抑うつ傾向」「夫の心身の不調」「夫・父親の役割問題」「家庭機能の問題」という要因と連鎖のように関連し合っていることがわかる。

そこで、この時期の育児困難感に対する対応は、母親の抑うつ傾向とともにその背景となっていると思われる夫、父親、家庭機能の問題にも留意した相談が必要であることを指摘したい。

3) 2 歳群の背景要因 (表 3-3):

「育児困難感 I」は「同 II」と .611, 「母親の不安・抑うつ傾向」.647, 「夫・父親・家庭機能の問題」.407, 「夫の心身不調」.369 の相関が得られた。

「育児困難感 II」は「母親の不安・抑うつ傾向」.626 とのみ高い相関が得られた。

1 歳児の場合と同様に育児困難感は母親の不安や抑うつ傾向と深い関連が見られたが、育児困難感 II は他の項目との相関がやや低く、その規定成因はタイプ I の方が複雑なものであることを予想させる。

4) 3 歳以上群 (表 3-4):

「育児困難感 I」は「同 II」と .732, 「母親の抑うつ傾向」と .566, 「夫・父親の役割問題」と .357 「家庭機能の問題」.351 という相関関係がみられた。

「育児困難感 II」は「母親の抑うつ傾向」と .596, 「家庭機能の問題」と .373, 「夫・父親の役割問題」と .330 の相関値であった。

他に「家庭機能の問題」は「夫・父親の役割問題」と .668, 「母親の抑うつ傾向」と .460, 「夫の心身不調」と .400, の関係があり、家庭機能の問題が大きく作用していることは明らかである。また、「夫・父親の役割問題」と「母親の抑うつ傾向」も .350 の相関が見られた。

このように各要因は相互に関連し合っており、これらが育児困難感を高めていく要因になっていることは明らかである。

以上、述べてきたように、各年齢群に特徴的な傾向も見られるが、一方で年齢を超えて共通する 5 つの成分が抽出され、その間の関連を検討すると、次のようである。即ち、育児困難感には母親の (不安) 抑うつ傾向が大きな役割を果たしており、母親の心の健康が関与しているものと考えられる。そしてこの母親の心の問題の背景要因として夫・父親の役割を含めた家庭機能の問題が大きく関わっているものと考えられる。従って、母と子はもちろんのこと、家庭、とりわけ、夫、父親の役割や、更に父親の心身の不調も関連があることに留意した育児相談が行われる必要があるといえよう。特に、母親の抑うつ傾向は乳幼児期を通してつねに現れる問題であり、他のさまざまな要因 (成分) とも深い関連を有していることに注目したい。育児困難という結果を招く諸要因がどのような結びつきをもつと、この状態が生じるのかについては、今後の課題であるが、いずれにしても、夫・父親への支援や相談が必要であり、このことが母親援助につながる。育児相談にあたってはこうした背景を十分に考慮することが必要不可欠であると考えられる。

4 育児困難感のプロフィール評定

表 4-1~4 は粗点を標準得点に換算するための換算表である。図 1-1~7 は各年齢群について、育児困難感の標準得点 1~5 による各成分領域のプロフィールを示したものである。若干の異同はあるが、標準得点 3 は、他の領域でもほとんど 3 の前後にプロットされ、標準得点の高い (4, 5)

即ち、育児困難感の強いものはタイプ I であれ II であれ、「母親の(不安)抑うつ傾向」が平均点 3 から 4 点強にプロットされている。他方、育児困難感の弱いものは(標準得点 1 または 2) 平均点が 2 から 3 の間にプロットされている。このように表に基づいて粗点を換算し、それをプロフィールにしてみると visual に判別できることがわかる。このプロフィールに基づいて、個々の母親の状態を把握、判断し、保健指導、あるいは育児、心理相談に活用できるものと思われる。今後、相談の場において適用することによりその臨床的な妥当性と有用性を検討したい。

表4-1 0歳児:粗点→SS(標準得点)変換表

SS	1	2	3	4	5
パーセンタイル	5	30	69	94	95
第1成分	21	22~27	28~38	39~56	57~
第2成分	12	13~16	17~25	26~36	37~
第3成分	8	9~10	11~16	17~24	25~
第4成分	-	9	10~12	13~20	21~
第5成分	8~9	10~13	14~18	19~24	25~
合計点	~67	68~84	85~108	109~137	138~

表4-2 1歳児:粗点→SS(標準得点)変換表

SS	1	2	3	4	5
パーセンタイル	5	30	69	94	95
第1成分	17	18~23	24~34	35~49	50~
第2成分	7	8	9~10	11~16	17~
第3成分	~9	10~13	14~18	19~24	25~
第4成分	7	8~9	10~14	15~22	23~
第5成分	7	8~10	11~16	17~22	23~
第6成分	6	7~8	9~12	13~16	17~
第7成分	-	5	6~8	9~13	14~
合計点	~67	68~88	89~113	114~140	141~

表4-3 2歳児:粗点→SS(標準得点)変換表

SS	1	2	3	4	5
パーセンタイル	5	30	69	94	95
第1成分	17	18~22	23~35	36~50	51~
第2成分	-	9	10~15	16~25	26~
第3成分	9	10~12	13~19	20~26	27~
第4成分	7	8~10	11~17	18~26	27~
第5成分	~7	8~11	12~16	17~20	21~
第6成分	6	7~8	9~12	13~18	19~
合計点	~64	65~82	83~108	109~140	141~

表4-4 3歳児以上:粗点→SS(標準得点)変換表

SS	1	2	3	4	5
パーセンタイル	5	30	69	94	95
第1成分	16	17~21	22~33	34~48	49~
第2成分	~12	13~18	19~25	26~32	33~
第3成分	7	8~9	10~15	16~24	25~
第4成分	7	8~11	12~16	17~23	24~
第5成分	7	8	9~11	12~19	20~
第6成分	-	7	8~9	10~14	15~
第7成分	7	8~11	12~16	17~22	23~
合計点	74	75~95	96~124	125~159	160~

また、ごく当たり前の結果であるが、育児困難感の強いものは各領域に高い得点を示しており、多くの背景要因を抱えているといえよう。

つぎに年齢群別にプロフィールの特徴をみると、

1) 0歳児群(図1-1):

標準得点(SS) 5の群は「母親の不安・抑うつ傾向」が高得点(平均4.2)を示している。そのプロフィールパターンをみると、育児困難感のSSが1と5ではその平均点の差(2.1)が大きい。従って、この要因が0歳児をもつ母親たちにとって大きなものであることがわかる。先に指摘したように要因(成分)間の相関が全般的に高いことから母親の心の健康を中心にその他の要因も考慮に入れて相談を行う必要があることをこのプロフィールパターンから読みとることができる。

2) 1歳児群(図1-2と3):

「育児困難感I」を中心にしたプロフィール(図1-2)は0歳児群と同様に「母親の抑うつ傾向」が高い。それと共に「育児困難感II」や「家庭機能の問題」も高く現れている。とりわけ、「育児困難感II」の高低差が大きいことがわかる。両者は成分としては分離しているものの、不可分な関係性を有していることがみてとれる。更に「母親の抑うつ傾向」「家庭機能の問題」「夫・父親の役割問題」との関係もよく現れている。従って、夫・父親の問題、及び、家庭機能を問題の焦点として取り上げなければならないことがこのプロフィールパターンを通して捉えることができる。

「育児困難感II」(図1-3)でも「母親の抑うつ傾向」「家庭機能の問題」が高くなっているが、「育児困難感I」の落差が大きく、両者の関係の深さを示したものと見える。これに対して、「夫・父親の役割問題」「夫の心身不調」「Difficult Baby」は高低差が小さい。これらの要因は影響が大きいといえるが、しかし「家庭機能の問題」に集約されて現れているとも考えられる。

3) 2歳児群(図1-4と5):

「育児困難感I」(図1-4)では「母親の不安・抑うつ傾向」「育児困難感II」が高く、他の要因で低いという顕著なプロフィールが見られる。標準得点の高低のプロフィールパターンの開きが認められ、この時期の育児困難感の特徴を示している。

「育児困難感II」(図1-5)は上記とほぼ同様の傾向を示している。

4) 3歳児以上群(図1-6と7):

「育児困難感I」(図1-6)では「母親の抑うつ傾向」「育児困難感II」が顕著に高く、他の成分は低いというパターンであり、これらは幼児期を通しての一般的な特徴を示したものと見える。

「育児困難感II」(図1-7)においてもほぼ同様で「母親の抑うつ傾向」「育児困難感I」が高く、他の成分は低いというパターンである。

このようにプロフィールパターンを見る限り、各年齢群を通してほぼ似たような傾向を示しており、「母親の(不安)抑うつ傾向」がもっとも中心的な課題であるといえよう。従って、母親の抑うつ傾向は、乳幼児期を通して最も配慮すべき要因であり、このプロフィール評定を行えば、育児困難感

とその背景となるポイントを的確に把握しうるものとする。他方、「Difficult Baby」のように育児困難感のSS得点の高低差にあまり影響を受けない成分がある。この影響は0歳児くらいまでであって、それ以降は育児困難感との関わりが少なくなることが認められた。

ところで、一連のプロフィールは統計上の平均値モデルである。従って、実際の臨床に適用するときは、ある母親の各成分毎の粗点を標準得点換算表に従い、標準得点を算出し、プロフィールを描き、そして、プロフィールパターンから母親の育児困難感の程度とその背景要因を把握し、その母親への適切な相談を行うために役立てることができるものとする。

さらに、このプロフィールパターンにはいくつかの典型的な類型パターンが見られる可能性がある。今後、このプロフィールパターンの類型を明らかにすることにより、母親への援助のあり方、適切な相談を行うためのよりきめ細かい指針を得ることが期待される。今後の課題である。

5. 育児支援評定尺度

巻末付録に「子ども総研式育児支援質問紙」を掲載した。これは、ここ数年間の集約である今回の研究で抽出された成分をもとに作成したものである。プロフィール作成方法は各領域について単純加算をし、これを年齢に応じて表2-1から4の換算表を用いて粗点から標準得点(SS)に換算する。育児困難感に関わる領域はA.とB.にわけ、それぞれタイプIとIIに対応している。以上の手順によりプロフィールを描き、完成させる。育児困難感(IでもIIでも)がSS4点ないし、5点であった場合、心理相談をすすめることが望ましい。とくに5点である場合は要注意である。また、他の尺度のSS得点が心理相談の際の有用な情報となるだろう。母親の(不安)抑うつ、夫・父親・家族機能のSS得点が高い場合にはとりわけ注意深い母親面接、ときには父親も招いての父親面接や父母合同面接が必要になるであろう。

最後に、研究方法の考察と今後の課題について述べる。昨年度は調査用紙を0-2歳児用と、2-6歳児用に分けて作成、施行したが、0歳児の回答傾向に違いがみられ、統計処理の段階で、3つの年齢群に分けることとなった。今回は0歳、1歳、2歳、3歳以上の4段階に分けることにより、より年齢に即した評定が可能となった。この評定尺度を保健センター等の乳幼児健診やその他の子どもの相談の場において適用し、その臨床的な妥当性と有用性を確認することが主な今後の課題となる。

付記：本研究のプロフィール尺度について、無断使用はご遠慮ください。もし、研究のために利用される場合には、研究代表の川井までお申し出ください。

謝辞 本研究をすすめるに当たりご協力いただいた日本小児保健協会発育委員はじめ、各地域の小児科、保育園、幼稚園の先生方、保健センターの保健婦、そしてお母さんたちに

深く謝意を表したい。

文献

- 1)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也：育児不安に関する基礎的研究。日本総合愛育研究所紀要, 30集, 27-39p, 1994.
- 2)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究-幼児の母親を対象に-。日本総合愛育研究所紀要, 31集, 27-42p, 1995.
- 3)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中野恵美子・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究II-育児不安の本態としての育児困難感について-。日本総合愛育研究所紀要, 32集, 29-47p, 1996.
- 4)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村 敬・恒次欽也：育児不安に関する臨床的研究III-育児困難感のアセスメント作成の試み-。日本総合愛育研究所紀要, 33集, 35-56p, 1997.
- 5)川井 尚・庄司順一・千賀悠子・加藤博仁・中村 敬・谷口和加子・恒次欽也・安藤朗子：育児不安に関する臨床的研究IV-育児困難感のプロフィール評定試案-。日本子ども家庭総合研究所紀要(旧誌名日本愛育総合研究所紀要), 34集, 93-111p, 1998.
- 6)齋藤 学：家族の闇を探る, NHK人間大学, 1998.
- 7)恒次欽也・庄司順一・川井 尚：いわゆる育児不安に関する調査研究(1)-「育児困難感」の規定要因に関する研究-。愛知教育大学研究報告 第46輯(教育科学), 123-129, 1999.

表3-1 0歳児 成分間相関

	第1成分	第2成分	第3成分	第4成分	第5成分
第1成分：夫・父親・家庭機能の問題					
第2成分：母親の不安・抑うつ傾向	386**				
第3成分：Difficult Baby	101*	290**			
第4成分：夫の心身の不調	441**	364**	200**		
第5成分：育児困難感Ⅰ	321**	579**	349**	315**	
合計点	781**	773**	489**	625**	689**

表3-2 1歳児 成分間相関

	第1成分	第2成分	第3成分	第4成分	第5成分	第6成分	第7成分
第1成分：夫・父親の役割問題							
第2成分：夫の心身不調	453**						
第3成分：育児困難感Ⅰ	277**	273**					
第4成分：Difficult Baby	003ns	121*	172*				
第5成分：育児困難感Ⅱ	298**	225**	691**	111*			
第6成分：母親の抑うつ傾向	298**	224**	469**	169**	509**		
第7成分：家庭機能の問題	657**	501**	306**	019ns	316**	343**	
合計点	778**	605**	682**	332**	673**	641**	697**

表3-3 2歳児 成分間相関

	第1成分	第2成分	第3成分	第4成分	第5成分	第6成分
第1成分：夫・父親・家庭機能の問題						
第2成分：夫の心身不調	500**					
第3成分：母親の不安・抑うつ	384**	424**				
第4成分：Difficult Baby	106ns	150*	246**			
第5成分：育児困難感Ⅰ	407**	369**	647**	107ns		
第6成分：育児困難感Ⅱ	274**	286**	626**	156*	611**	
合計点	765**	678**	767**	463**	709**	648**

表3-4 3歳児 成分間相関

	第1成分	第2成分	第3成分	第4成分	第5成分	第6成分	第7成分
第1成分：夫・父親の役割問題							
第2成分：育児困難感Ⅰ	357**						
第3成分：Difficult Baby	094**	226**					
第4成分：母親の抑うつ傾向	350**	566**	208**				
第5成分：家庭機能の問題	668**	351**	134**	460**			
第6成分：夫の心身不調	422**	291**	117**	327**	400**		
第7成分：育児困難感Ⅱ	330**	732**	193**	596**	373**	285**	
合計点	770**	748**	404**	716**	725**	546**	719**

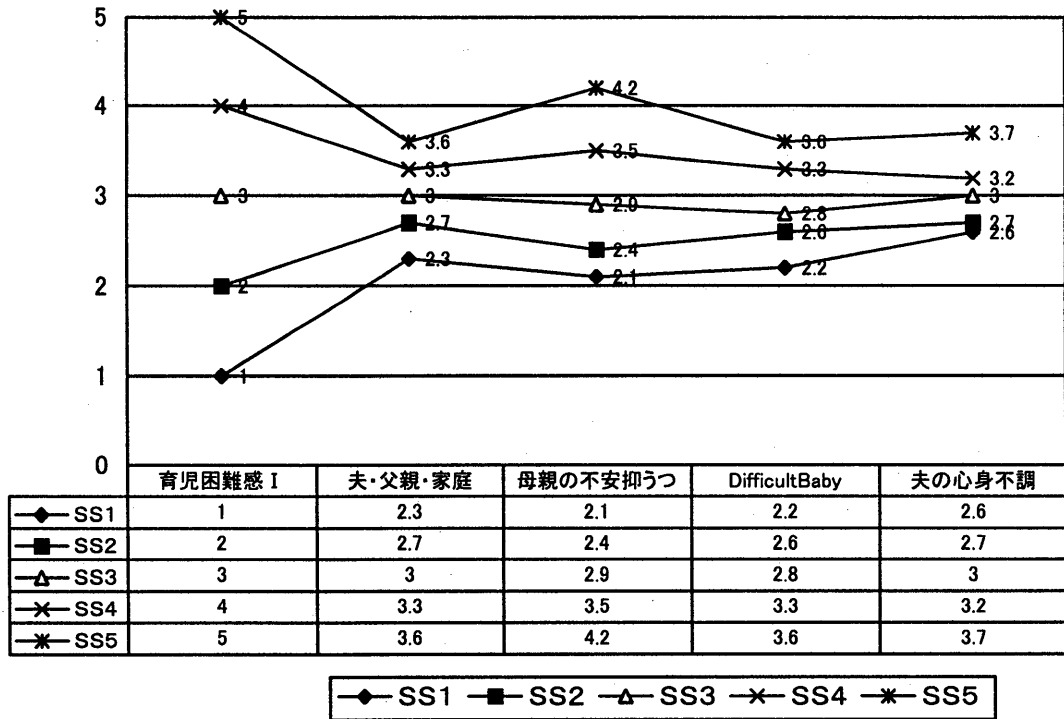


図1-1 0歳児：育児困難感Iと他の成分とのプロフィール

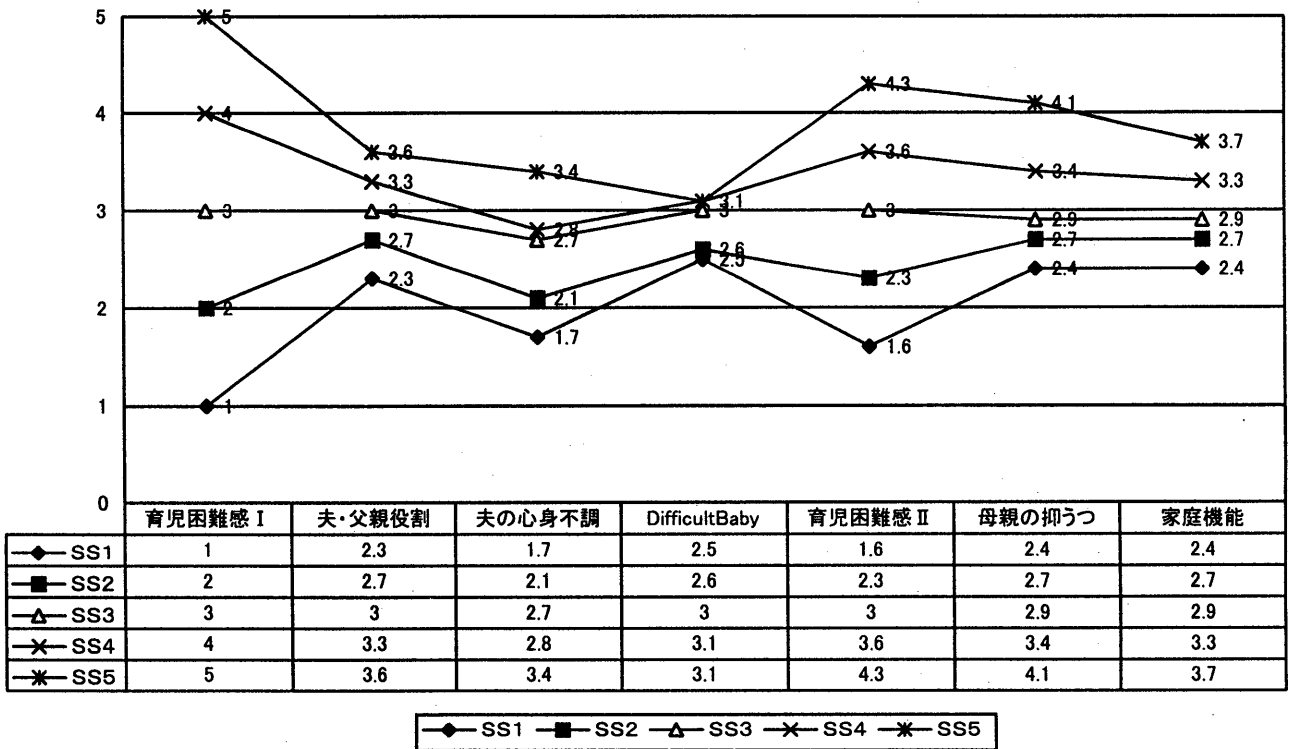


図1-2 1歳児：育児困難感Iと他の成分とのプロフィール

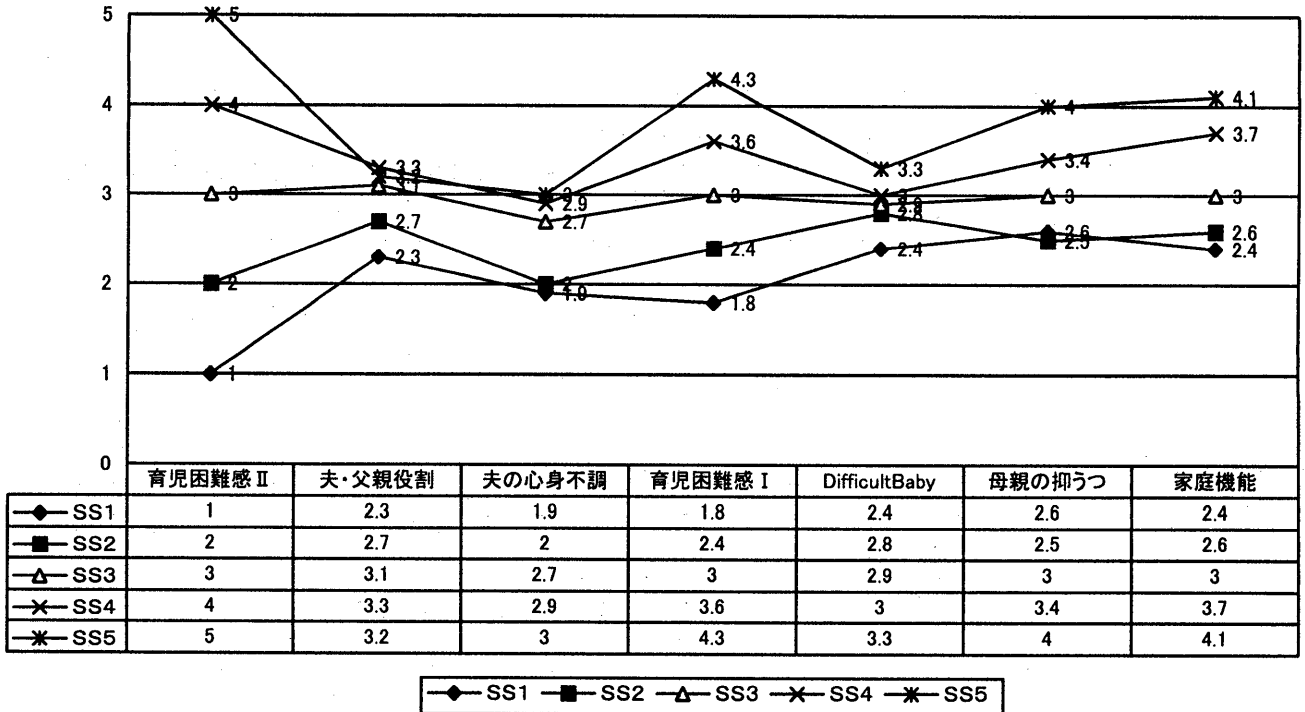


図 1-3 1 歳児：育児困難感 II と他の成分とのプロフィール

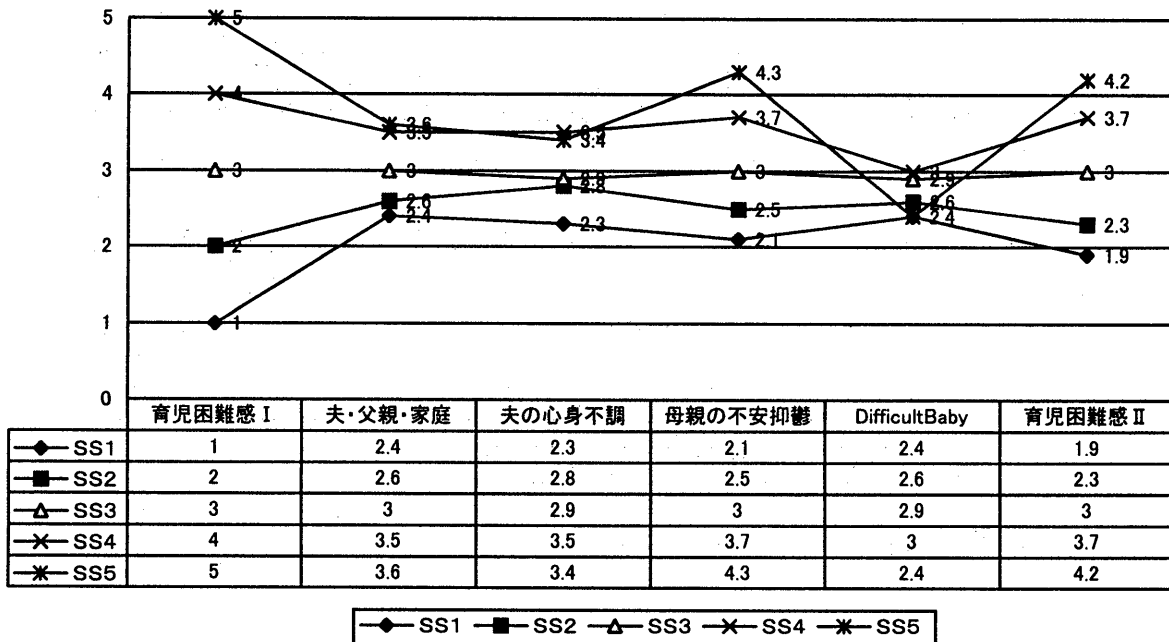


図 1-4 2 歳児：育児困難感 I と他の成分とのプロフィール

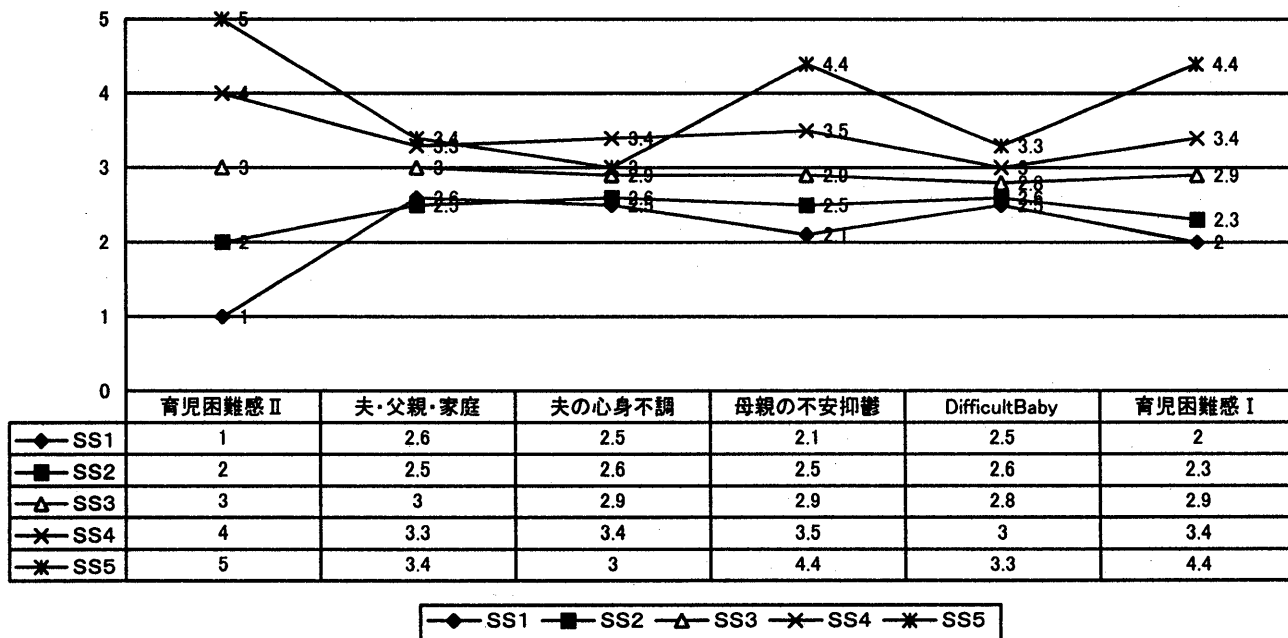


図1-5 2歳児：育児困難感IIと他の成分とのプロフィール

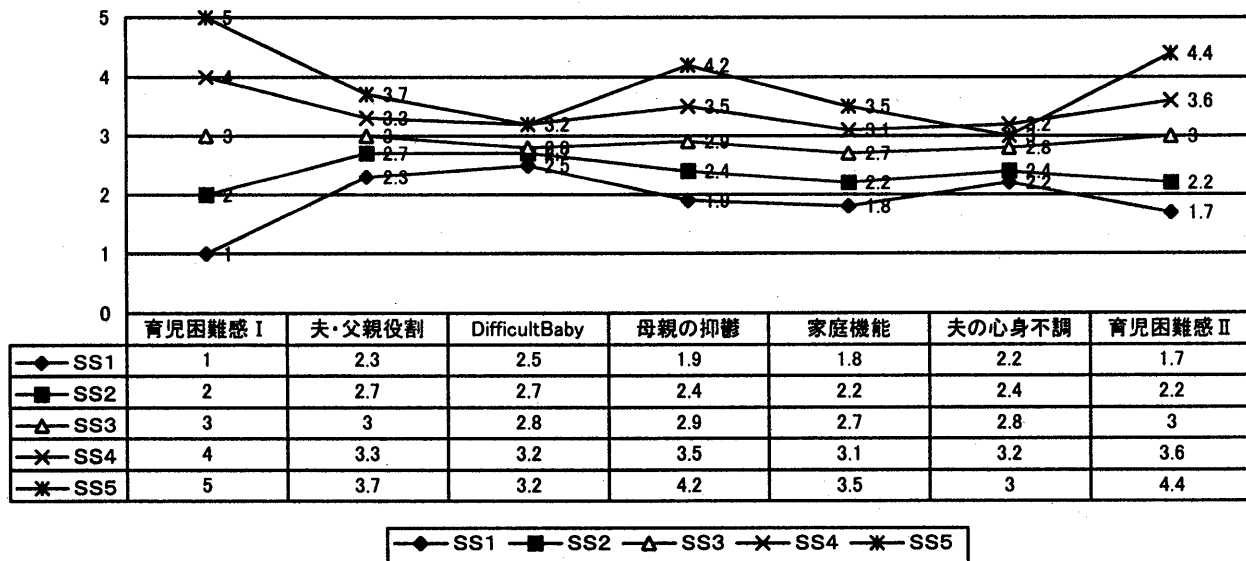


図1-6 3歳以上：育児困難感Iと他の成分とのプロフィール

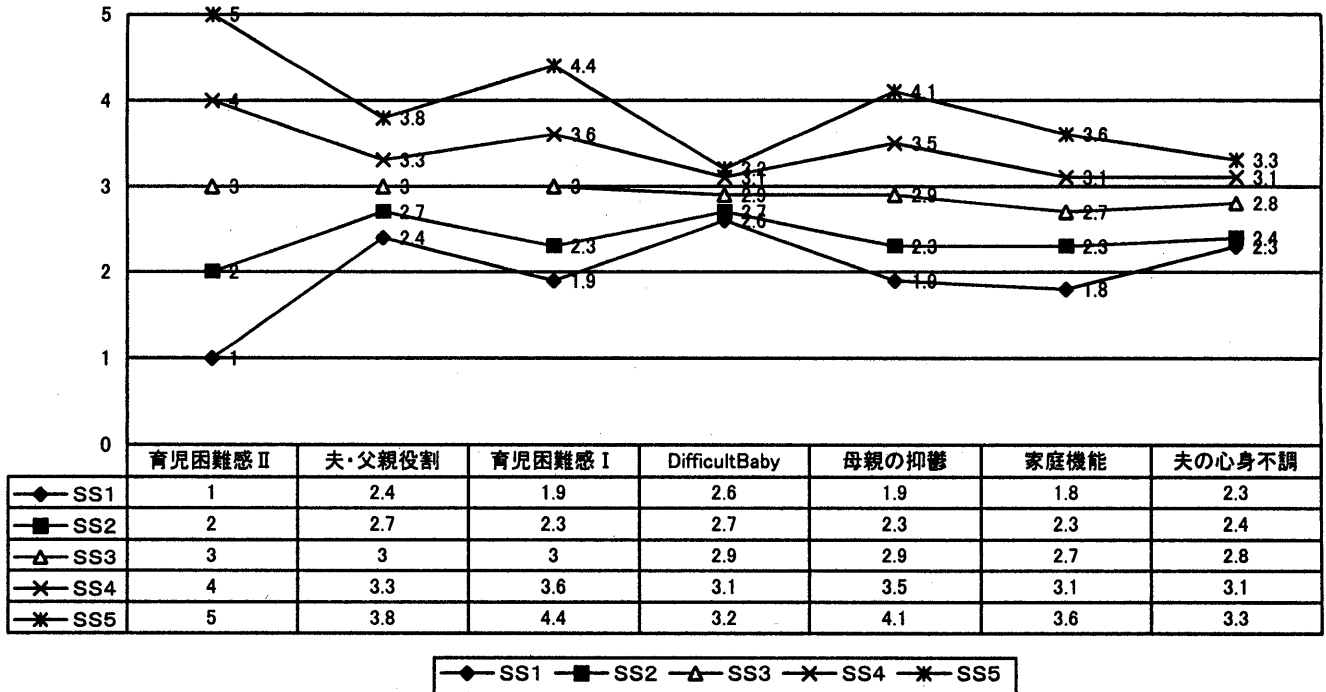


図1-7 3歳以上：育児困難感IIと他の成分とのプロフィール

子ども総研式・育児支援質問紙

<0～11ヶ月児用>

<回答の仕方>

次のページからの質問項目に、いずれかお考えやお気持ちに近いものを一つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますができるだけどれかにお答えください。

作者のことば：

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。

そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするこ
とを目的にこの質問紙を作りました。

お役に少しでも立てることを願っています。

恩賜財団母子愛育会

日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

川 井 尚

1. 育児の印象について

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 育児に自信が持てない	4	3	2	1
2. 子どものことでどうしたらよいか分からない	4	3	2	1
3. 子どものことは理解できている	1	2	3	4
4. どのようにしついたらよいか分からない	4	3	2	1
5. 母親として不適格と感じる	4	3	2	1
6. 私は子育てに困難を感じる	4	3	2	1
7. 子どもをうまく育てている	1	2	3	4
8. 育児についていろいろ心配なことがある	4	3	2	1

RS	SS

2. お父さんやご家族についておききします

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 夫は私や子どものためにとてもよくしてくれる	1	2	3	4
2. 夫は精神的に私を支えてくれている	1	2	3	4
3. 父親としての自覚が足りない	4	3	2	1
4. 夫は子育ての大変さなどわたしの苦労をわかっていない	4	3	2	1
5. 家庭内に関する事柄について夫には期待できない	4	3	2	1
6. 育児のことで相談にのってくれる	1	2	3	4
7. 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい	1	2	3	4
8. 夫と気持ちが通じ合っている	1	2	3	4
9. 夫は子どもに関心がない	4	3	2	1
10. 仕事や趣味だけに打ち込んでいる	4	3	2	1
11. 夫は子どもをどのように扱ったらよいか分からない	4	3	2	1
12. この人と結婚して幸せである	1	2	3	4
13. 夫と話し合う時間が少ない	4	3	2	1
14. 家族は子育ての大変さを理解してくれない	4	3	2	1
15. 家族は私の趣味や仕事を理解し、協力してくれる	1	2	3	4
16. 家族としてのまとまりを感じる	1	2	3	4
17. 子どもは父親になつていない	4	3	2	1
18. 家庭の中がしっくりいかない	4	3	2	1
19. 妊娠中、夫や家族の理解が得られなくて大変だった	4	3	2	1
20. 夫は家事や育児に消極的である	4	3	2	1
21. 幸せな気分で過ごしている	1	2	3	4

RS	SS

3. ご自身の最近のようすについて

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 気が滅入る	4	3	2	1
2. 不安や恐怖感におそわれる	4	3	2	1
3. 悲観的になりやすい	4	3	2	1
4. とても心配性であれこれ気に病む	4	3	2	1
5. 精神的に不調である	4	3	2	1
6. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれることがある	4	3	2	1
7. いてもたってもいられないほど落ち着かない	4	3	2	1

- | | | | | |
|----------------------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 8. 何事にも敏感に感じすぎてしまう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. おこりっぽい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. イライラしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 楽天的でくよくよ考えない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 出産後、気持ちが沈み、おっくうでなにもする気がしなかった | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

4. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいまで），お子さんはどのような赤ちゃんでしたか（ですか）

- | | | | | |
|---------------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. よく泣いてなだめにくい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. わけもわからず泣く | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. あまり眠らない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 一晩に何回も起こされる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. おとなしく手がかからない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 一日の生活リズムが一定しない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 夜泣きがひどい | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

5. あなたからみた最近の夫のようすについて

- | | | | | |
|----------------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 精神的に不調である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. イライラしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 精神的にゆとりがない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 沈みがち | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 悲観的である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 眠れない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 淋しい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 仕事がうまくいってない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 仕事に行きたがらなかったり，やる気を失っている | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

6. お子さんについて困っていること，心配なこと相談したいことがあればお書きください

[補足質問] *

1. お子さんのお名前 _____ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日生 満 ____ 歳 ____ ヶ月
2. お子さんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
3. あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
4. お父さんの年齢 _____ 歳
5. お子さんは _____ 人
6. 同居しているのは
1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
7. その他 (_____)
7. お子さんの昼間の主な養育者は (一つだけ○をつけてください)
1. 母親 2. 保育所<幼稚園は1に○> 3. 祖父母 4. その他 (_____)
8. あなたのお仕事は (一つだけ○をつけてください)
1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
6. その他 (_____)
9. 妊娠, 出産の状態について
1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
2. 妊娠週数 (_____) 週
3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
4. 産褥期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
5. 出生体重 (_____) g
6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。

連絡先:

〒106-0047 東京都港区南麻布5の6の8
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所
著者代表 川井 尚
電話とFAX: 03-3473-8346
(1999年試案)

子ども総研式・育児支援質問紙所見票<0～11ヶ月児用>

<プロフィール評定尺度>

実施年月日 : 平成____年____月____日

子どもの名前 : _____ (男・女) 平成____年____月____日生 満____歳____ヶ月

保護者の名前 : _____ (____歳)

5										
4										
3										
2										
1										
尺度名	育児困難感 I	夫・父親・家族	母親の不安抑うつ	Difficult Baby	夫の心身不調					
RS										
SS										

主な心配 :

プロフィール所見 :

相談所見 :

相談機関名 : _____ 担当者名 : _____

子ども総研式・育児支援質問紙 ＜1歳児用＞

＜回答の仕方＞

次のページからの質問項目に、いずれかお考えやお気持ちに近いものを一つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますができるだけどれかにお答えください。

作者のことば：

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。

そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするこ
とを目的にこの質問紙を作りました。

お役に少しでも立てることを願っています。

恩賜財団母子愛育会

日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

川 井 尚

1. 育児の印象について

A.	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 育児に自信が持てない	4-----3-----2-----1			
2. 子どもをうまく育てている	1-----2-----3-----4			
3. 子どものことでどうしたらよいか分からない	4-----3-----2-----1			
4. どのようにしついたらよいか分からない	4-----3-----2-----1			
5. 育児についていろいろな心配なことがある	4-----3-----2-----1			
6. 母親として不適格と感じる	4-----3-----2-----1			
7. 子どものことは理解できている	1-----2-----3-----4			
8. 私は子育てに困難を感じる	4-----3-----2-----1			

RS	SS

B.	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む	4-----3-----2-----1			
2. 子どもを虐待しているのではないかと思う	4-----3-----2-----1			
3. 何で叱られているのか分からないのに叱ってしまう	4-----3-----2-----1			
4. 私はおこりっぽい	4-----3-----2-----1			
5. 私はイライラしている	4-----3-----2-----1			
6. 子どものことがわずらわしくてイライラする	4-----3-----2-----1			
7. 母親として不適格と感じる	4-----3-----2-----1			

RS	SS

2. お父さんの最近のようすについておききします

	はい	ややはい	ややいいえ	いいえ
1. 夫は私や子どものためにととてもよくしてくれる	1-----2-----3-----4			
2. 育児のことで相談にのってくれる	1-----2-----3-----4			
3. 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる	4-----3-----2-----1			
4. 夫は精神的に私を支えてくれている	1-----2-----3-----4			
5. 父親としての自覚が足りない	4-----3-----2-----1			
6. 家庭内に関する事柄について夫には期待できない	4-----3-----2-----1			
7. 夫は子育ての大変さなどわたしの苦勞をわかっていない	4-----3-----2-----1			
8. 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい	1-----2-----3-----4			
9. この人と結婚して幸せである	1-----2-----3-----4			
10. 夫と気持ちが通じ合っている	1-----2-----3-----4			
11. 夫はほとんど家にいない	4-----3-----2-----1			
12. 夫は子どもに関心がない	4-----3-----2-----1			
13. 夫と話し合う時間が少ない	4-----3-----2-----1			
14. 夫は家事や育児に消極的である	4-----3-----2-----1			
15. 家族としてのまとまりを感じる	1-----2-----3-----4			
16. 夫は子どもをどのように扱ったらよいか分からない	4-----3-----2-----1			
17. 幸せな気分で過ごしている	1-----2-----3-----4			

RS	SS

3. あなたからみた最近の夫のようすについて

- | | | | | |
|----------------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 沈みがち | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 精神的に不調である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 仕事に行きたがらなかつたり、やる気を失っている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 悲観的である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 仕事がうまくいってない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 淋しい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 生き生きしている | 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

4. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいいまで）、お子さんほどのような赤ちゃんでしたか（ですか）

- | | | | | |
|---------------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. よく泣いてなだめにくい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. あまり眠らない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 一日の生活リズムが一定しない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 一晩に何回も起こされる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. おとなしく手がかからない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. わけもわからず泣く | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

5. 最近のご自身のようすについて

- | | | | | |
|--------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 心配性であれこれ気に病む | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 何事にも敏感に感じすぎてしまう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 楽天的でくよくよ考えない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 悲観的になりやすい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 気が滅入る | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

6. ご家族について

- | | | | | |
|---------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 家庭の中がしっくりいかない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 何かと、家庭内にもめごとが起こる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 家庭にはわたしの居場所がない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 家庭内に心配事がある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 家族としてのまとまりを感じる | 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

7. お子さんについて困っていること、心配なこと相談したいことがあればお書きください

[補足質問] *

1. お子さんのお名前 _____ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日生 満 ____ 歳 ____ ヶ月
2. おさんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
3. あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
4. お父さんの年齢 _____ 歳
5. おさんは _____ 人
6. 同居しているのは
1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
7. その他 (_____)
7. おさんの昼間の主な養育者は (一つだけ○をつけてください)
1. 母親 2. 保育所<幼稚園は1に○> 3. 祖父母 4. その他 (_____)
8. あなたのお仕事は (一つだけ○をつけてください)
1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
6. その他 (_____)
9. 妊娠、出産の状態について
1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
2. 妊娠週数 (_____) 週
3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
4. 産褥期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
5. 出生体重 (_____) g
6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。

連絡先:

〒106-0047 東京都港区南麻布5の6の8

日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

著者代表 川井 尚

電話とFAX: 03-3473-8346

(1999年試案)

子ども総研式・育児支援質問紙所見票<1歳児用>

<プロフィール評定尺度>

実施年月日：平成____年____月____日

子どもの名前：_____（男・女）平成____年____月____日生 満____歳____ヶ月

保護者の名前：_____（____歳）

5															
4															
3															
2															
1															
尺度名	育児困難感 I	育児困難感 II	夫・父親役割	夫の心身不調	Difficult Baby	母親の抑うつ	家庭機能								
粗点															
SS															

主な心配：

プロフィール所見：

相談所見：

相談機関名：_____ 担当者名：_____

子ども総研式・育児支援質問紙 ＜2歳児用＞

＜回答の仕方＞

次のページからの質問項目に、いずれかお考えやお気持ちに近いものを一つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますができるだけどれかにお答えください。

作者のことば：

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。

そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするこ
とを目的にこの質問紙を作りました。

お役に少しでも立てることを願っています。

恩賜財団母子愛育会

日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

川 井 尚

1. 育児の印象について

- A
- | | | | | | | | |
|-------------------------|----|-------|-------|-------|---|-------|---|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ | | | |
| 1. 育児に自信が持てない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 2. 子どものことでどうしたらよいか分からない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 3. どのようにしつけたらよいか分からない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 4. 子どもをうまく育てている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 5. 育児についていろいろ心配なことがある | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 6. 母親として不適格と感じる | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |

RS	SS

- B.
- | | | | | | | | |
|---------------------------|----|-------|-------|-------|---|-------|---|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ | | | |
| 1. 何で叱られているかわからないのに叱ってしまう | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 2. とめどなく叱ってしまう | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 3. 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 4. 子どものことを許せない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 5. 私はおこりっぽい | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 6. 子どもを虐待しているのではないかと思う | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |

RS	SS

2. 最近のお父さんのようすについておききします

- | | | | | | | | |
|------------------------------|----|-------|-------|-------|---|-------|---|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ | | | |
| 1. 夫は私や子どものためによくしてくれる | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 2. 夫は精神的に私を支えてくれている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 3. 育児のことで相談にのってくれる | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 4. この人と結婚して幸せである | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 5. 夫と気持ちが通じ合っている | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 6. 家庭内に関する事柄について夫には期待できない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 7. 父親としての自覚が足りない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 8. 夫は子育ての大変さなどわたしの苦勞をわかっていない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 9. 夫は子どもをどのように扱ったらよいか分からない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 10. 夫は子どもに関心がない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 11. 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 12. 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 13. 夫と話し合う時間が少ない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 14. 家族としてのまとまりを感じる | 1 | ----- | 2 | ----- | 3 | ----- | 4 |
| 15. 夫は家事や育児に消極的である | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 16. 妊娠中、夫や家族の理解が得られなくて大変だった | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |
| 17. 家庭の中がしっくりいかない | 4 | ----- | 3 | ----- | 2 | ----- | 1 |

RS	SS

3. あなたからみた最近の夫のようすについて
- | | | | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 精神的に不調である | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 2. 精神的にゆとりがない | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 3. 仕事がかうまくいってない | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 4. 悲観的である | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 5. 沈みがち | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 6. 仕事に行きたがらなかつたり、やる気を失っている | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 7. イライラしている | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 8. 居場所がない | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 9. 眠れない | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |

RS	SS

4. 最近のご自身のようすについて
- | | | | | |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. とても心配性であれこれ気に病む | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 2. 悲観的である | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 3. 何事にも敏感に感じすぎてしまう | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 4. 楽天的でくよくよ考えない | 1----- | 2----- | 3----- | 4----- |
| 5. 気が滅入る | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 6. 不安や恐怖感におそわれる | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 7. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 8. イライラしている | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |

RS	SS

5. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらゐまで），お子さんはどのような赤ちゃんでしたか
- | | | | | |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. よく泣いてなだめにくかった | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 2. あまり眠らなかつた | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 3. 抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかった | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 4. 一晩に何回も起こされた | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 5. おとなしく手がかからなかつた | 1----- | 2----- | 3----- | 4----- |
| 6. 一日の生活リズムが一定しなかつた | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |
| 7. わけもわからず泣いた | 4----- | 3----- | 2----- | 1----- |

RS	SS

6. お子さんについて困っていること、心配なこと相談したいことがあればお書きください

〔補足質問〕＊

1. お子さんのお名前 _____ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日生 満 ____ 歳 ____ ケ月
2. お子さんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
3. あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
4. お父さんの年齢 _____ 歳
5. お子さんは _____ 人
6. 同居しているのは
1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
7. その他 (_____)
7. お子さんの昼間の主な養育者は (一つだけ○をつけてください)
1. 母親 2. 保育所<幼稚園は1に○> 3. 祖父母 4. その他 (_____)
8. あなたのお仕事は (一つだけ○をつけてください)
1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
6. その他 (_____)
9. 妊娠, 出産の状態について
1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
2. 妊娠週数 (_____) 週
3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
4. 産褥期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
5. 出生体重 (_____) g
6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。

連絡先:

〒106-0047 東京都港区南麻布5の6の8
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所
著者代表 川井 尚
電話とFAX: 03-3473-8346
(1999年試案)

子ども総研式・育児支援質問紙所見票<2歳児用>

<プロフィール評定尺度>

実施年月日：平成____年____月____日

子どもの名前：_____（男・女）平成____年____月____日生 満____歳____ヶ月

保護者の名前：_____（____歳）

5												
4												
3												
2												
1												
尺度名	育児困難感Ⅰ	育児困難感Ⅱ	夫・父親・家族	夫の心身不調	母親の不安抑うつ	Difficult Baby						
粗点												
SS												

主な心配：

プロフィール所見：

相談所見：

相談機関名：_____ 担当者名：_____

子ども総研式・育児支援質問紙

<3～6歳児用>

<回答の仕方>

次のページからの質問項目に、いずれかお考えやお気持ちに近いものを一つだけ選んで番号に○をつけてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますができるだけどれかにお答えください。

作者のことば：

子どもが心身共にすこやかに育つには、子ども自身の自発的な力とそれを支える環境がとても大切です。

そこで、お母さんやご家族の育児のお手伝いをするこ
とを目的にこの質問紙を作りました。

お役に少しでも立てることを願っています。

恩賜財団母子愛育会

日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所

川 井 尚

1. 育児の印象について

- | | | | | |
|----------------------------|----|------|-------|-----|
| A. | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 育児に自信が持てない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 母親として不適格と感じる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 子どもをうまく育てている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. どのようにしつければよいかわからない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 育児についていろいろ心配なことがある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 子どものことでどうしたらよいか分からない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 私は子育てに困難を感じる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 子どものことは理解できている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 子どものことがわずらわしくてイライラする | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. よその子どもと比べて落ち込んだり自信をなくす | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 子どもを育てることが負担である | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

- | | | | | |
|---------------------------|----|------|-------|-----|
| B. | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. とめどなく叱ってしまう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 子どもに八つ当たりしては、反省して落ち込む | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 私はおこりっぽい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 私はイライラしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 何で叱られているかわからないのに叱ってしまう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 子どもを虐待しているのではないかと思う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 子どものことがわずらわしくてイライラする | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

2. 最近のお父さんのようすについておききします

- | | | | | |
|------------------------------|----|------|-------|-----|
| | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
| 1. 父親としての自覚が足りない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 夫は私や子どものためによくしてくれる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 夫は子どもとよく遊び、面倒見がよい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 夫は子どもにあまり関心がない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 夫は子育ての大変さなどわたしの苦勞をわかっていない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 夫は子どもをどのように扱ったらよいかわからない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 育児のことで相談にのってくれる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 家庭内に関する事柄について夫には期待できない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 夫は仕事や趣味だけに打ち込んでいる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. 夫は家事や育児に消極的である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 夫は精神的に私を支えてくれている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. この人と結婚して幸せである | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13. 夫と気持ちが通じ合っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14. 夫と話し合う時間が少ない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15. 家族としてのまとまりを感じる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16. 家庭の中がしっくりいかない | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

3. 赤ちゃんのとき（生まれてから半年ぐらいまで），お子さんはどのような赤ちゃんでしたか

- | | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|----------------------------|----|------|-------|-----|
| 1. よく泣いてなだめにくかった | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. あまり眠らなかつた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 抱っこや外に連れ出すなど寝るまでに手がかかった | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 一晩に何回も起こされた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. わけもわからず泣いた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 一日の生活リズムが一定しなかつた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. おとなしく手がかからなかつた | 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

4. 最近のご自身のようすについて

- | | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|-----------------------|----|------|-------|-----|
| 1. 心配性であれこれ気に病む | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 何事にも敏感に感じすぎてしまう | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 不安や恐怖感におそわれる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 楽天的でよくよ考えない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 悲観的である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 気が滅入る | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 何ともいえず淋しい気持ちにおそわれる | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

5. ご家族について

- | | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|------------------------|----|------|-------|-----|
| 1. 家庭の中がしっくりいかない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 何かと、家庭内にもめごとが起こる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 家族の中で私だけがつらい思いをしている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 家族は子育ての大変さを理解してくれない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 家庭にはわたしの居場所がない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. しゅうとめなどの家族に干渉される | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 家族としてのまとまりを感じる | 1 | 2 | 3 | 4 |

RS	SS

6. あなたからみた最近の夫のようすについて

- | | はい | ややはい | ややいいえ | いいえ |
|----------------------------|----|------|-------|-----|
| 1. 沈みがち | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 淋しい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 悲観的である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 居場所がない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 精神的に不調である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 仕事に行きたがらなかつたり、やる気を失っている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 眠れない | 4 | 3 | 2 | 1 |

RS	SS

7. お子さんについて困っていること、心配なこと相談したいことがあればお書きください

[補足質問] *

1. お子さんのお名前 _____ 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日生 満 ____ 歳 ____ ヶ月
2. おさんは _____ 番目 1. 男の子 2. 女の子
3. あなたのお名前 _____ 年齢 _____ 歳
4. お父さんの年齢 _____ 歳
5. おさんは _____ 人
6. 同居しているのは
1. 夫 2. 夫<単身赴任中> 3. 自分の父親 4. 自分の母親 5. 夫の父親 6. 夫の母親
7. その他 (_____)
7. おさんの昼間の主な養育者は (一つだけ○をつけてください)
1. 母親 2. 保育所<幼稚園は1に○> 3. 祖父母 4. その他 (_____)
8. あなたのお仕事は (一つだけ○をつけてください)
1. 主婦 2. フルタイム (常勤) 3. パート・アルバイト 4. 自営 5. 休職中
6. その他 (_____)
9. 妊娠, 出産の状態について
1. 妊娠中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
2. 妊娠週数 (_____) 週
3. 分娩中の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
4. 産褥期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
5. 出生体重 (_____) g
6. 新生児期の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)
7. 生後1ヶ月以降の異常 (1. なし 2. あり<具体的に _____ >)

*お名前の記載を望まない方は、無記入にしてください。

連絡先:

〒106-0047 東京都港区南麻布5の6の8
日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所
著者代表 川井 尚
電話とFAX: 03-3473-8346
(1999年試案)

子ども総研式・育児支援質問紙所見票<3歳～6歳児用>

<プロフィール評定尺度>

実施年月日：平成____年____月____日

子どもの名前：_____（男・女）平成____年____月____日生 満____歳____ヶ月

保護者の名前：_____（____歳）

5																				
4																				
3																				
2																				
1																				
尺度名	育児困難感Ⅰ	育児困難感Ⅱ	夫・父親役割	Difficult Baby	母親の抑うつ	家庭機能	夫の心身不調													
粗点																				
SS																				

主な心配：

プロフィール所見：

相談所見：

相談機関名：_____ 担当者名：_____